

収支報告

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
寄付金 (賛助会員費含む)	1,291万円	1,472万円	1,752万円
経常費用内訳	管理費 31% (433万) 事業費 69% (957万) 1,390万円	管理費 30% (375万) 事業費 70% (871万) 1,246万円	管理費 30% (544万) 事業費 70% (1,225万) 1,769万円
事業費内訳	マネークリップ 11% (103万) 実家便 89% (854万) 957万円	マネークリップ 10% (91万) 実家便 90% (780万) 871万円	マネークリップ 12% (143万) 実家便 88% (1,082万) 1,225万円

ご協賛・寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しています。
当財団の活動へのご理解と、ご支援・ご協力をお願いいたします。

直接のご寄付	賛助会員として支える	協力団体を通じて寄付
	年会費は、 個人1口¥10,000 法人1口¥50,000です。	様々な協力団体を通じ、ご寄付を募っています。 右記のQRコードより最新の情報をご確認ください。

財団概要/役員

名称：公益財団法人あいである

所在地：〒105-0004
東京都港区新橋1丁目18番16号
日本生命新橋ビル3階

T E L：03-6435-0444

E-mail：info@idealideal.org

設立登記：2015年4月1日

公益認定：2017年4月1日

代表理事 木皿 昌司 評議員 飯塚 良成

理事 笠作 真一郎 太田 一平

下田 隆二 安岡 利朗

中村 安志 若杉 千秋

三浦 保

吉田 倅子 諮問委員 坂本 輝子

吉田 義夫 坂本 博之

渡辺 修三 柴山 英士

監事 相楽 行孝 村井 美紀



公益財団法人あいであるは、

「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でないとされた子ども」の
健全育成支援を行う財団法人です。事業として、社会的養護出身者の退所後の支援「実家便™」、
社会的養護児童の自立支援「お金の管理に関するレクチャー」を行っています。

あいである Annual Report 2023

ご挨拶 ～2022年度の支援事業 活動報告に寄せて～

日頃より当財団の支援事業にご理解とご賛同を賜り、厚く御礼申し上げます。

実家便支援は、新規200名、継続491名、合計691名への支援を行いました。

継続支援者の前回からの継続率は96%。事業開始からの支援人数は1368名、利用施設数は143ヶ所となり、全児童養護施設数(612ヶ所)のうち、23%の施設で実家便を活用していただいています。

児童養護施設による施設退所者に向けたアフターケア事業のひとつとして利用されており、施設退所者と定期的に連絡を取る機会が持て、生活状況の把握、サポートにつなげるなど、支援を届けられている中では事業目的を十分に果たせていると考えています。

退所者からは「食料品がたくさん届いて嬉しい。お菓子が嬉しかった」「すぐに食べられるレトルト食品とお米は有難い」「生活が苦しかったから助かった」「防災用品は必要だと思うけど、自分ではどうすれば良いかわからなかった」などの言葉が職員を通して報告されています。

5年間の継続支援がある実家便によって、退所者と継続的にコンタクトすることができ、退所者がどうして良いかわからない場面で躊躇しないで施設に連絡があるなど、施設職員からは良い関係作りに手ごたえを感じるなどの報告もあります。

気持ちの波は誰にでもあることですが、実家便に入っている「あなたのことを気にしています」というメッセージが込められた職員からの手紙が、退所者を支える一助となっており、困ったときに自分から相談できるという、社会で自活する

ことの基本が少しずつ身についている例もあるように思います。施設と退所者をつなぐ架け橋として、継続して支援事業の意義、その効果を伝えて参ります。

お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」は、2か所の施設を訪問しレクチャーを行うことができました。

マネークリップは、施設を退所した後のお金の管理や生活設計、コミュニケーションを体験できるゲームです。助成金を得て、成人年齢引き下げによって懸念される事象や、新たな決済システムへの対応に関するレクチャーカードを追加制作、配布、レクチャーでも使用を始めました。カードがあることでビジュアルで確認がしやすく、説明や注意喚起の機会ができるのとの話を伺っています。レクチャーの進め方などを紹介する動画を施設訪問前に送付し、事前に見ていただくことで、レクチャー内容への理解が深まることが確認できていますので、レクチャー動画の活用を含め、マネークリップレクチャーの紹介、支援を積極的に行って参ります。

心理的サポート、お金の管理を含む社会的スキルを身に付けるための機会提供など、施設措置された子ども、子どもを養育している施設にとっても、当財団の支援はそのニーズに応えるもののご支持をいただいています。

当財団は多くの方々からのご寄付によって運営、支援事業を行っています。私どもに託された支援を、社会的養護を必要とする子どもへの支援として効果的に届けて参りますので、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

代表理事 木皿 昌司

【公式Facebookを開設しました!】

あいであるの取り組みを身近に感じていただけるよう情報を発信してまいります。ぜひフォローをお願いいたします! 右のQRコードから、アクセスできます♪



実家便TM

施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年2回、施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設からの申請を受け食品や生活用品を発送しています。

施設退所者と施設をつなぐ「実家便™」は、施設退所者にとっては施設や施設職員とつながっていることの安心感を得ること、施設にとっては子どもの居場所確認とともに、私たちはあなたを気にしていますというメッセージを「モノ」と「言葉」の両方で送る支援です。

施設退所者が、本当の意味で自立するまでには、時間を要します。唯一の拠り所である児童養護施設とのつながりを持ち続けることは、子どもが再び負の連鎖を生まないための一助となるセーフティネットであり、自立への見守り支援です。



継続支援者宛 令和4年6月送付



継続支援者宛 令和4年12月送付

実家便の発送費用として
助成金をいただきました!

LUSH FRESH
HANDMADE COSMETICS
ラッシュジャパン合同会社

実績

令和2年度

新規支援人数 180
継続支援人数 405
対象施設 122

施設退所者へのアフターケアの必要性が着目される中、各児童養護施設の自立支援プログラムとして実家便を活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されており支援事業として定着していると考えられる。
また、新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

令和3年度

新規支援人数 200
継続支援人数 441
対象施設 115

施設退所者へのアフターケアが強化される中で、各児童養護施設の自立支援プログラムとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、昨年同様、新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

令和4年度

新規支援人数 200
継続支援人数 491
対象施設 119

平成28年児童福祉法改正を受けた「新しい社会的養育ビジョン」で施設退所者へのアフターケアの強化が明示され児童養護施設に自立支援担当職員の配置が進む中で、「実家便」事業は、各児童養護施設による自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

「お金の管理に関するレクチャー」



社会的養護施設の下で暮らす子どもは、お金の管理や心構え、契約手続きなど社会人として必要なスキルを学ぶ機会がほとんどないまま18歳で施設などから退所し、社会で自活を始めます。未熟なまま施設を退所せざるを得なかった要社会的養護児が金銭的トラブルに陥らないよう、社会適応力をつける機会として、お金の管理や、生活設計について学ぶレクチャーを開催しています。



カード形式のゲームで、
取りくみやすい内容です。

社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について
学ぶためのレクチャーを行っています。

実績

令和2年度

新規4団体

コロナ禍にあっても、施設を退所する子どもがお金の管理について学ぶ必要があることに変わりはなく、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況の中、代替的なレクチャーの要請を受け、動画でのレクチャーを行った。

令和3年度

新規5団体、継続2団体

コロナ禍の中、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況が続いている。助成金を得て、レクチャーの意義や進捗の仕方などを紹介する動画を制作し、申請のあった施設に配布した。
動画は、職員に向けたお金に管理についての啓もう、意識統一の面でも有用であり、視聴した職員が子どもへのレクチャーを行ったとの報告も受けている。今後は動画の紹介、活用方法など積極的な案内が必要と考える。

令和4年度

新規2団体

コロナ禍にあっても、施設を退所する子どもがお金の管理について学ぶ必要があることに変わりはないが、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況が続いていた。レクチャーの申請は受けており、感染が落ち着いた中で施設訪問によるレクチャーを実施することができた。レクチャーの意義や進捗の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらうことで、レクチャーへの理解が深まるとの話も聞けており、さらなる活用の仕方をレクチャー現場でヒアリングしながら検討している。

新たなレクチャーカードを制作いたしました!

成年年齢の引き下げにより懸念されている金銭や契約に伴うトラブルに関するカードや、キャッシュレス決済、スマホアプリの課金など、社会環境の変化への注意喚起となるカードを新たに制作いたしました!

「お金をまわそう基金」からカード制作費を助成いただきました!



公益財団法人
お金をまわそう基金



令和5年度は、実家便に同梱する「お米」の購入費用を「お金をまわそう基金」の寄付サイトから集めています! 右のQRコードからご寄付いただけます!
ご支援いただけましたら幸いです。



実家便を受け取った 子どもの声

実家便最終回を受け取った子どもから、施設の先生、支援者の方へ向けて。

私が冷たく当たっても
裏で静かに応援してくれて
とても感謝しています。
施設では嫌な思い出の方が
多かった気がしますが、信頼でき
る大人に出会えて良かったです。

施設を退所していきなりの一人暮らし
は楽しみなどの期待もありましたが、やはり
頼る人がいない、困ったときどうしようといった
不安もありました。しかし、施設とは
定期的に関わる機会があり、その不安は
軽減されていました。また、自宅にも来て
様子を見に来てくれました。これから自分自身
も社会に貢献していけるように頑張っ
ていきたいと思っています。
ありがとうございました。

実家便支援で、暖かい気持ちの
こもったメッセージカード、とても
嬉しかったです。
支援者さんの皆様本当にありがとうございます。
毎日、届くのが楽しみです。
これから感謝の気持ちを忘れず、
回りに感謝しながら頑張ります。お返事を
したいと思います。
本当にありがとうございます。

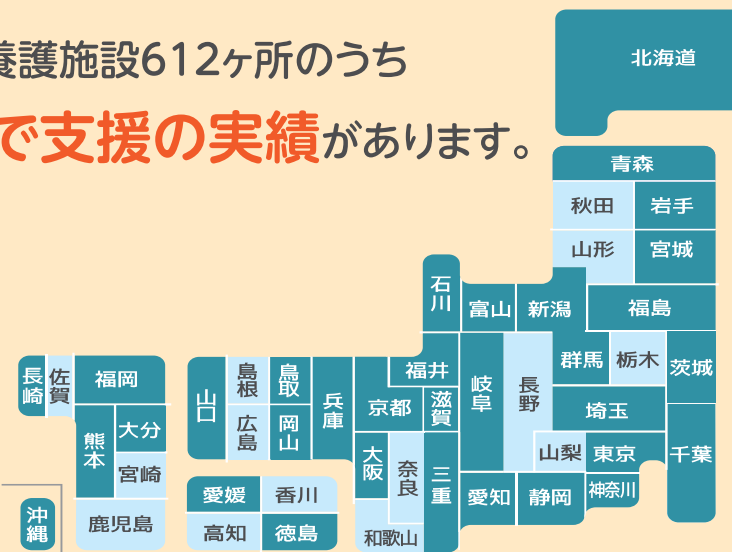
実家便の支援実績

支援年度	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年
支援者数	235名	374名	456名	551名	585名	641名	691名
新規支援者数	143名	166名	172名	207名	180名	200名	200名
対象施設	62	85	96	113	122	115	119

活動の状況 全国の児童養護施設612ヶ所のうち
142ヶ所で支援の実績があります。

実績

支援実績のある
都道府県33(現状)



株式会社アーテック 株式会社アーテック



前田製菓株式会社



食品ロス・リボンセンター



マルコメ株式会社



株式会社 白子



コストコホールセール ジャパン株式会社



セカンドハーベスト・ジャパン



NPO 法人報徳食品支援センター



株式会社たらみ



株式会社石崎商店



株式会社パン・アキモト



学校法人タイケン学園



ブルーミング中西株式会社



株式会社ヒサゴサービス



まいにち株式会社

その他

(※順不同・敬称略)